

家庭科学習指導案

竹原市立吉名学園

教諭 中野 愛

- 1 第5学年A組 17名
- 2 題材名 我が家の節分 ほっとタイム大作戦！
- 3 題材について

指導観

付けたい力を付けるための指導の工夫

本題材では、家族で団らんする機会をもつことを目的として、「節分パーティーをしよう」というゴールを設定した。児童にとって身近な豆まきや恵方巻などの節分行事の団らんに向けて計画を立てやすいこと、季節の行事を控えるこの時期に学校で学んだことを生かし、家庭でもすぐに実践できることと考えた。

まずは、家庭の団らんの前段階として、班の友だちとゲストの先生を家族に見立て、会話の内容や関わり方の工夫を考えさせる。

また、パーティーに必要な物を準備する過程では、買物の学習と結び付け、必要な商品情報を児童自身で集め、購入商品を決定させる。観点をもとに目的に合った物かを説明させ、互いの班で吟味した上で購入することでねらいとする力を身に付けさせたい。

題材観

付けたい力

本題材では主に次の2点の力を育成する。

1点目は、家族と楽しく団らんする計画を立て、ふれ合いを深める工夫を考え、実践することができるようにする。

2点目は、身近な物の選び方に関心を持ち、目的に合わせて必要な情報を集め、目的に合った物を選んで買い方を工夫することができるようにする。

授業で学習し、身に付けた力を生かし、各家庭で団らん・買物の計画を立て、児童それぞれが家庭生活をよりよくするために実践できるようにする。

.....

学習指導要領上の位置付け

A 家庭生活と家族（3）ア

D 身近な消費生活と環境（1）ア イ

児童観

付けたい力に係る児童の実態

児童アンケートにより、1人で買物をしたことがある児童は87%である。そのうち目的に合わせて計画的に商品を購入した経験のある児童は77%いた。一方、家族で「団らん」をしたことがあると答えた児童は27%だった。食事や娯楽以外での家族の時間をとりにくい家庭もあり、「団らん」をしていても児童が意識していない実態もある。豆まきを家庭でしたことのある児童は93%いたので、児童自身が家庭で「団らん」を主催するには「節分」はよいきっかけとなるであろう。

4 題材の目標

- （1）家族との団らんに関心を持ち、触れ合う場をもとうとする。また、団らんを計画する上での買物の仕方に関心を持ち、適切に買物をしようとする。
- （2）家族との団らんを楽しむ方法や目的に合った買物の仕方を考え工夫する。
- （3）団らんを楽しむために必要な商品の情報を集め、整理する。
- （4）家族との団らんの大切さについて理解する。また、適切な買物の仕方について理解している。

5 題材の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
(1) 家族との触れ合いや団らんに関心を持ち、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。 (2) 身近な物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に買物をしようとしている。	(1) 家族との触れ合いや団らんを楽しむことについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。 (2) 購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	(1) 購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理することができる。	(1) 家族とのふれあいや団らんの大切さについて理解している。 (2) 限りある物や金銭の有効な使い方、目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。

6 指導と評価の計画（全8時間）

時	学習活動	教師の支援	評価
1	○団らんの大切さを知り、「わが家の節分パーティーを開こう」という目標をもつ。	○家族とのふれあいを深めるために児童が中心となって会を企画する意欲をもたせる。誕生日会などの経験から楽しい時間にするために工夫すること（飲食物・飾り付け・話題等）を考えさせる。	関（1） 知（1）
2	○クラスの「節分パーティー」に必要な準備物を考える。 日時 節分前の金曜 3・4時間目 場所 家庭科室 ゲスト 4人の先生（班ごとに1人） 予算 各班 1000円以内	○欲しい物を全て聞き取った後に、予算を伝え、本当に必要かそうでないかを買物チャートで分類させる。次時まで各自で節分パーティーで食べる豆の情報を集めてくるように伝える。	関（2） 知（2）
3	○各自が持ち寄った商品情報を基に、どれを購入するか話し合う。	○持ち寄った情報だけでは、購入商品を決定的にできないことに気付かせる。必要な情報（値段・量・賞味期限・ゲストの好み・環境・状態など）を確認し、再度商品情報を集めてこさせる。	技（1）
4	○再度調べなおした商品情報を整理して、購入製品を決定する。（本時）	○集めた情報をマトリクスに整理し、食べる目的や食べる量・食べる場面を考えて品物を選ばせる。班で選んだ商品とその理由を説明させるとともに、質疑応答の場を設ける。	工（2） 技（1）

5	○当日の流れを決定し、班ごとに団らんを楽しめる工夫を考える。	○残りの予算から節分パーティーで食べる豆以外に必要な購入品を決定させる。 また、団らんの目的を確認し、班での会話・ふれあいの内容を考えさせる。	工（１）
6, 7	○「節分パーティー」の準備をする。 （飲食物や皿等、飾り付け、お面） ○「節分パーティー」を行い、家庭での実践の見通しをもたせる。	○パーティーをスムーズに進めるために湯茶や皿、飾り付けなどの事前準備を行う。 ○家族（班員とゲスト）が全員楽しめ、ほっとできる会を実践させる。家庭で行う「我が家の節分パーティー」の計画を立て、実践してくるよう伝える。	工（１）
家庭での学習	○「我が家の節分パーティー」の計画を立て実践する。		
8	○家庭で行った「我が家の節分パーティー」を団らん・買物の点から振り返る。	○児童それぞれが実践したことについて成果と課題を発表させる。	工（１）

7 本時の目標

「節分パーティー」に用いる商品の品質や価格などを調べ、選び方や買い方を工夫することができる。

8 本時の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
	品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、工夫したりしている。	菓子の品質や価格など集めた情報を整理している。	

9 本時の展開（4／8時間）

時間	児童の思考と学習活動の流れ	教師の支援（○）と評価（■）																														
5分間	○1回目と2回目に収集した商品情報のメモを比較し、2回目がより詳しく調べられたことを確認する。	○集めた商品情報から購入商品を決定する上で考慮しなければならない「購入の目的・日時・参加者・予算」を再度確認する。 目的：団らんを楽しむため、節分パーティーで食べる豆を購入する。 日時：H31. 2. 1（金）3・4校時 参加者：班員4人+ゲストの先生1人 予算：豆代のみ500円																														
10分間	めあて 自分たちの班にぴったりの商品を選ぼう。 ○教師が選んだ商品（CとD）について選び方の良し悪しを話し合う。 【例】 <table><tr><th>商品</th><th>値段</th><th>量</th><th>先生の好み</th><th>賞味期限</th><th>おまけ</th></tr><tr><td>A</td><td>212円</td><td>60g</td><td>○チョコ</td><td>19.3.3</td><td>×</td></tr><tr><td>B</td><td>299円</td><td>10g×12袋</td><td>○バラエティ</td><td>19.5.3</td><td>×</td></tr><tr><td>C★</td><td>140円</td><td>80g</td><td>○紅白甘い</td><td>20.2.3</td><td>×</td></tr><tr><td>D★</td><td>390円</td><td>500g</td><td>◎激辛</td><td>20.2.3</td><td>○お面付き</td></tr></table>	商品	値段	量	先生の好み	賞味期限	おまけ	A	212円	60g	○チョコ	19.3.3	×	B	299円	10g×12袋	○バラエティ	19.5.3	×	C★	140円	80g	○紅白甘い	20.2.3	×	D★	390円	500g	◎激辛	20.2.3	○お面付き	○教師が集めた情報をもとにまとめた表とC・Dを選んだ理由を伝え、本当にこの買い方でよいか問う。 【購入決定の理由】 1. Dは最も量が多く、お面付きでお得だから。 2. Dは先生が一番好きな味だから。 3. CとDは一番賞味期限が長いから。 ○良し悪しの理由をつけて発表させるとともに、児童が出した観点のカードを貼りながら板書する。 ・値段 ・好み ・量 ・おまけ ・賞味期限 ・品質 ・包装（環境） ・産地 ○量が分かる見本の袋を見せる。 ○買物の目的等に沿って、選んでいることを褒める。
商品	値段	量	先生の好み	賞味期限	おまけ																											
A	212円	60g	○チョコ	19.3.3	×																											
B	299円	10g×12袋	○バラエティ	19.5.3	×																											
C★	140円	80g	○紅白甘い	20.2.3	×																											
D★	390円	500g	◎激辛	20.2.3	○お面付き																											
15分間	○各自が調査してきた商品情報をグループで整理し、購入商品を選ぶ。 ○買物の目的を考えてどの商品を選ぶか班で話し合い、決定する。	○マトリクスの表に班が重視する観点を選んで記入させる。また、児童はその観点到に沿って集めてきた情報を書いた附箋を貼るよう指示する。 ■菓子の品質や価格など集めた情報を整理している。（ワークシート）																														

	(例) <table><tr><th>商品</th><th>値段</th><th>量</th><th>賞味期限</th><th>包装</th><th>品質</th></tr><tr><td>A</td><td>220 円</td><td>150 g</td><td>1 か月</td><td>紙</td><td>甘い</td></tr><tr><td>B</td><td>270 円</td><td>12g× 10 袋</td><td>1 年</td><td>小袋</td><td>色々</td></tr><tr><td>C</td><td>150 円</td><td>100g</td><td>1 年</td><td>プラ</td><td>辛い</td></tr><tr><td>D</td><td>420 円</td><td>500g</td><td>6 か月</td><td>プラ</td><td>素豆</td></tr></table>						商品	値段	量	賞味期限	包装	品質	A	220 円	150 g	1 か月	紙	甘い	B	270 円	12g× 10 袋	1 年	小袋	色々	C	150 円	100g	1 年	プラ	辛い	D	420 円	500g	6 か月	プラ	素豆	
商品	値段	量	賞味期限	包装	品質																																
A	220 円	150 g	1 か月	紙	甘い																																
B	270 円	12g× 10 袋	1 年	小袋	色々																																
C	150 円	100g	1 年	プラ	辛い																																
D	420 円	500g	6 か月	プラ	素豆																																
	・Dは量が多いね。5人で食べきれなかったらもったいないよ。豆の種類も1種類だから飽きるかもね。 ・Bは味がいろいろだから楽しめるね。 ・ただBはビニールをたくさん使っているから環境面では、あまりよくないね。 ・AとCならCの方が賞味期限が長いし、値段が安いよ。 ・でも、1週間後に食べるから賞味期限は1か月でもよいと思う。 ・私たちの班に招待するゲストはALTだよ。辛いものが好きって言っていたからCは買いたいね。 ・Cを買うならもう1つのAの甘い豆にしたらどう？AとCで値段と量も目的に合っているね。 →私たちの班は、環境と味の組み合わせを重視してAとCを選びます。																																				
10 分 間	○マトリクス表をもとに、選んだ商品とその理由を説明する。聞き手は質問や感想を述べる。			○発表する班の周囲に集まって聞くように指示する。 (全4班)																																	
5 分 間	○他の班の意見をもとにもう一度話し合い、購入商品を決定する。それらを選んだわけを模造紙に記入する。 ○本時を振り返り、次時の見通しをもつ。			■品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、工夫したりしている。(模造紙)																																	